

2022年11月9日

損害保険ジャパン株式会社

SOMPOリスクマネジメント株式会社

パナソニックIPマネジメント株式会社

知的財産権に関するリスクへの新たなサービスの開発に向けた業務提携について

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：白川 儀一、以下「損保ジャパン」）、SOMPOリスクマネジメント株式会社（代表取締役社長：桜井 淳一、以下「SOMPOリスク」）およびパナソニックIPマネジメント株式会社（代表取締役社長：足立 和泰、以下「パナソニックIPマネジメント」）は、昨今の「コーポレートガバナンス・コード」の改訂や「知財・無形資産の投資・活用戦略の開示及びガバナンスに関するガイドライン」（略称：知財・無形資産ガバナンスガイドライン）策定など、知的財産（以下「知財」）を取り巻く環境が大きく変化するなか、世界に伍して戦っていく日本企業の将来価値・競争力の向上に貢献すべく、知財に関するリスク（以下「知財リスク」）への新たなサービス・保険商品の開発に向けて協業することに合意し、このたび業務提携契約を締結しました。

1. 背景

2021年6月の「コーポレートガバナンス・コード」の改訂や、2022年1月の「知財・無形資産ガバナンスガイドライン」（内閣府知的財産戦略推進事務局）の策定など、知財を取り巻く環境は大きく変化しています。

「コーポレートガバナンス・コード」の改訂	知財ガバナンスの観点から「知財投資戦略の情報開示」と「取締役会による知財への実効的な監督」の2点が追加された。
「知財・無形資産ガバナンスガイドライン」の策定	企業が知財や無形資産への積極的な投資や活用を通じて成長することを促すため、政府がガイドラインを策定したもの。

日本企業が中長期的な企業価値向上や持続的成長を実現するためには、知財や無形資産への積極的な投資、戦略的な活用などが強く求められます。同時に、それらに対する新たなリスクも想定の上、十分な対策を検討しておく必要があると考えられます。

2. 主な業務提携内容、3社の強み、役割

3社はそれぞれの持つ強みを活かし、業務提携することで、知財リスクに対する新たなサービスや保険商品の開発を行っていきます。提携第一弾の新サービスとして、知財リスク調査レポートを2022年度中にリリース予定です。

	損保ジャパン	SOMPOリスク	パナソニックIPマネジメント
強み	新たなリスクに対する保険商品の開発およびリスク低減の実現。	お客さまに寄り添いながら、社会の新たな課題やリスクに対してソリューションを提供。	知財に関する豊富な経験、ノウハウ、実績を有する。
役割	知財リスクに対するニーズや社会情勢を踏まえた保険商品を開発し、提供していく。	知財に関する平時・有事の課題やリスクについて新たなサービスを開発し、提供していく。	知財リスクを社会課題ととらえ、その課題解決のための現状分析を行い、新たなサービス・保険商品の開発を提言し、サポートしていく。



パナソニックIPマネジメント

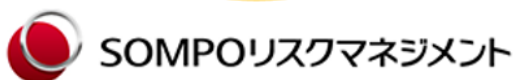
知財に関する豊富な経験、ノウハウ、実績を有する。

知財リスクを社会課題ととらえ、その課題解決のための現状分析を行い、新たなサービス・保険商品の開発を提言し、サポートしていく。



新たなリスクに対する保険商品の開発およびリスク低減の実現。

知財リスクに対するニーズや社会情勢を踏まえた保険商品を開発し、提供していく。



お客さまに寄り添いながら、社会の新たな課題やリスクに対してソリューションを提供。

知財に関する平時・有事の課題やリスクについて新たなサービスを開発し、提供していく。

3. 今後について

今後、上記の業務提携内容の具体的な検討を進めていきます。知財リスクに対する新たなサービスや保険商品を開発し、提供していくことで、日本企業の知財や無形資産への積極的な投資と活用戦略の構築等を後押しし、ひいては世界に伍して戦っていく日本企業の将来価値・競争力の向上に貢献できるよう、取り組めます。

【パナソニックIPマネジメント】

パナソニックグループの知財専門会社。

設立日	2014年（平成26年）9月1日
議決権割合	パナソニック出資管理合同会社 100%
本社所在地	大阪市中央区城見2-1-61 OBPパナソニックタワー内
業務内容	知的財産の調査、出願・権利化、維持・管理、知的財産の利用許諾等に関する契約・交渉等の知的財産業務全般
URL	https://www.panasonic.com/jp/company/pipm.html